

2020年度学校評価 【西南学院中学校・高等学校】

建学の精神および学校法人西南学院の使命

学校法人西南学院は、「西南よ、キリストに忠実なれ」の建学の精神に基づいて、真理の探究および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人格を育てることを使命とする。

建学の精神である「西南よ、キリストに忠実なれ」という言葉は、Lで始まる4つの英単語を用いて表され、本校では、チャペル講話をはじめ様々な教育活動においてこの4つのLを取り入れて具体的に実践している。

- ・L i f e（生命）：すべての人命を積極的に尊重すること
- ・L o v e（聖愛）：真の神を礼拝し、他者に奉仕すること
- ・L i g h t（光明）：知らなきところに真理の光を掲げること
- ・L i b e r t y（自由）：責任ある自由をもって行動すること

学校法人西南学院のビジョン

- ①人間育成：キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践
- ②教育研究：確かな教育力と新たな知と価値の創造
- ③国際感覚：異文化を受容し、行動できる国際性の修得
- ④地域貢献：進化する福岡とともに歩む学校としての自覚と協働
- ⑤経営基盤：永続的な変革と発展を支える柔軟な組織の構築

西南学院中学校・高等学校における教育の目標

- ①かけがえのない“L i f e（いのち）”を大切にする
- ②“L o v e（聖愛）”の実践を通して、隣人に仕える
- ③“L i g h t（世の光）”として、平和構築に貢献する
- ④真理を探究し、真の“L i b e r t y（自由）”を得る

西南学院中学校・高等学校における学校評価の進め方と2020年度の重点目標

I o T、A I、ビッグデータ等の先進技術を活用することで、モノやサービスを提供する新しい時代、“S o c i e t y 5. 0”を迎えようとしている。国際化や多様化が進み、情報の高度化が加速する社会にあって、教育現場においても、国家、地域、年齢、性別、言語等を超えた、多様で普遍的な価値観に対応できる人材の育成が求められている。建学の精神を堅守しつつ、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、平和を創り出す人材育成を継続するとともに、これまでの教育内容を点検し整備を進めることを目指す。

ビジョン	中長期事業計画					2020年度事業計画案	担当部署	2020年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2020年度の具体的計画内容	2020年度の具体的実施内容	評価(S・A・B・C)	評価の理由
人間育成 ①平和をつくりだす人間教育 ②隣人愛の理解と実践 ③奉仕の精神を持って社会を先導する人間の育成	1	「平和をつくりだす人間教育」「キリスト教精神に基づいた隣人愛の実践」の反映と浸透	1	中・高	チャペルやミッション・ウィークを活用した「いのち」を大切に教育や「人権教育」の充実、また、「いじめ」防止に向けた教育プログラムの充実	人権・「同和」学習の継続的な実施と充実	新型コロナ・ウイルスの感染拡大の影響によって、聴覚特別支援学校との交流活動、ピース・メイキング・プログラムとインターナショナル・デイキャンプなどのプログラムに関しては当初の計画通りの実施が困難であるが、人権・「同和」教育特設ホームルームでの講演、視聴覚教材による授業、「いじめ」アンケートの実施と振り返り、月ごとの主題をふまえたチャペル講話の充実化に関しては、確実に実施して継続的な啓発活動を展開する。	宗教部			
			2	中・高	中学3年沖縄修学旅行や韓国への(からの)旅等の交流プログラムによる平和学習の充実	平和学習の継続と充実	6月末の段階で、沖縄修学旅行の実施方法は検討中であり、「韓国への旅」は実施を見送る状況である。しかし、修学旅行実施を念頭に置きつつ、事前準備としての平和映画鑑賞とテーマを関連させたチャペル講話の実施などを通して、平和学習を継続しつつ、生徒と共に事前学習プログラムのさらなる充実を図る。				
			3	中・高	生徒が主体的に企画・運営するチャペル企画やボランティア活動の充実	生徒が主体的に参加するチャペル活動や奉仕活動の実施と充実	4～5月の「休校期間」には宗教部による毎日の聖句と祈りの課題の配信を通して、生徒たちに祈りの支援を呼びかけた。路上生活者や生活困窮者への支援物資やマスクの提供などの活動を通して、生徒達が主体的に企画するボランティア活動を充実させ積極的な情報収集を行う。				
			4	中・高	地域の教会や他のキリスト教主義学校との連携によるプログラムの充実	外部組織との連携強化によるチャペル等の充実	地域の教会の牧師や他のキリスト教学校の教員等にチャペル講師など協力を依頼する中での関係づくりに努める。2020年度、校外での活動においては新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けざるを得ないが、本校のキリスト教教育の促進に資する内容の写真パネル展等の企画を検討する。なお、本校保護者を対象としたバイブルクラス実施の機会確保に努め、キリスト教活動への理解を求めるとともに連携を広げる機会としたい。				
	2	社会の担い手となるサーバントリーダー育成プログラムの充実	5	中・高	生徒に対するサーバントリーダー育成のための教育プログラムの充実	サーバントリーダー育成プログラムの創設・展開	「クリスマス募金」や「震災忘れない募金」活動を通じて、生徒が他者に仕え、配慮しながら行動することの実践機会を設ける。	生徒指導部			
			6	中・高	モラル・ルールに対する意識の向上	社会ルールの遵守に向けた指導徹底および意識啓発プログラムの充実	昨年度から引き続き、①登校時におけるマナーと自転車交通ルールの指導・徹底、②携帯電話・スマホやSNS利用を中心としたマナー指導・啓発活動の実施の2点に取り組む。②においてはコロナウイルスの影響により家庭でのインターネット利用時間の増加や学校でのICT機器を使った授業の必要性など環境が大きく変化している。社会の現状に合わせ、メディアを利用する生徒たちの意識向上と学校でのルールの見直しを検討する。				

ビジョン	中長期事業計画					2020年度事業計画案	担当部署	2020年度事業報告案			
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2020年度の具体的計画内容	2020年度の具体的実施内容	評価(S・A・B・C)	評価の理由
教育研究 ①一人ひとりの個性を引き出す保育・教育力の充実 ②総合的な「知」を志向した教育機会の提供 ③社会を先導し、社会へ貢献することを目指す研究機能の充実・強化	1	入試制度・生徒募集	1	中・高	中長期的展望に立った学校の将来計画の検討	社会情勢や動向に基づく適正な学校運営の実現	運営委員会や中長期計画検討委員会等を中心に、近年の各種入試結果の検証や中高一貫教育体制の課題等を踏まえ、今後の中高全体の将来計画を検討・策定する。	総務部			
			2	中・高	入試制度(中学・専願・前期・帰国生等の入試制度、入試科目、出題形式、入試日程等)の検討	教育の充実に向けた入試制度の確立と実施	中学入試においては、近年の入試動向や教育課程の変更を踏まえた入試制度改革案を策定する。また受験生の出願時の利便性を向上させるため、インターネット出願の導入を図る。高校入試においては、専願入試、前期入試ともに各教科の学力を複数の指標で判断できる制度導入を検討する。また、今後の課題として帰国生入試での試験科目の取り扱いや各種入試の募集人数等についても検討する。				
			3	高校	西南学院大学推薦入試制度の見直しと検討	高大接続の充実を含む西南大推薦入試の実施	進路指導部を中心に西南大推薦入試制度における学部学科ごとの推薦人数や出願条件等について検証する。その内容を大学学部長等との懇談会において協議し、高大接続の観点からお互いにとってより有効な制度となる方向性を見出す。		進路指導部		
	2	カリキュラム・教科教育	4	中・高	中高一貫教育体制の検証と改善	中高一貫教育の特色を活かした学校運営の確立	運営委員会や職員会議を中心に中高一貫教育の現状と課題について、生徒の人的成長や学業成績等、幅広い面から確認の上で必要な改善に向けた今後の方針を協議・検討し、実施する。	教務部			
			5	中・高	教科教育の充実	生徒の学力向上と幅広い進路保障の確立	各教科において学期ごとに授業内容や成果について検証し、様々な課題を共有の上、教育内容の充実に向けた方策を検討する。なお、2020年度においてはカリキュラム検討委員会において新学習指導要領の実施に伴う教育課程・授業時間数表を完成させ、教務部では2021年度からの新入試に向けた調査書の改定を実施する。				
			6	中・高	ICT教育の検討	ICT教育システムの積極的な活用による生徒の主体的学習の促進	生徒1人1台タブレットPC導入に向けて、タブレットPCを活用した授業の研修を行う。また、クラウドサービスを含めたICT教育環境の整備をさらに推進する。		ICT教育検討委員会		

ビジョン	中長期事業計画						2020年度事業計画案	担当部署	2020年度事業報告案		
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値	2020年度の具体的計画内容		2020年度の具体的実施内容	評価(S・A・B・C)	評価の理由
教育研究	3	進路指導	7	中・高	キャリア教育(進路指導)体制および手法の見直しと検討	生徒の特性や希望に即したキャリア教育指導体制の確立	進路指導部を中心に中学の進路交流会や卒業生による講演、高校の進路説明会や大学説明会等を継続的に実施し、さらにキャリア教育の充実に向けた今後の基本方針を策定する。	進路指導部			
				高校	高大接続および連携の課題に対応した進路指導の充実	高大接続および連携を活用した進路指導の充実	各大学が設ける高大接続や連携の仕組み・制度を検証し、今後の進路指導における活用方策について検討する。				
				高校	多様化する進路希望者に対する支援制度の確立	進路保障の拡充に向けた制度の確立	2021年度からの新入試以降の受験動向を見据えつつ、引き続き国公立大学や難関私立大学への進学志向、また生徒の特性や希望に応じた進路指導・支援の強化に取り組む。また、海外進学を含めた多様な進学支援に向けた今後の進路指導体制のあり方を検討する。				
	4	特別支援	10	中・高	特別支援体制の整備と充実	生徒の状況に応じた教育支援の確立	2020年度に設置された教育支援委員会を中心に現状と課題を検証の上、授業や各種行事をはじめ学校生活における様々な支援方策や成績評価のあり方等を検討するとともに、今後の教育支援体制の強化に向けた具体的方策を策定する。	総務部 教務部			
	5	総合的な「知」の探究	11	中・高	外部講師による講演会やチャペル講話の充実・強化	幅広い知識の修得による知的好奇心の醸成と精神的成長の促進	生活困窮者支援や平和構築などの社会的問題に取り組む実践者を講師に招き、歴史的・文化的背景を理解しながらグローバルな視点をもって課題解決に向かうための知識の習得と姿勢を養う機会を設ける。	宗教部			
				中・高	現図書館の利用促進と「学習情報資料センター(仮称)」の機能をもつ新図書館構想の実現	生徒が自主的に利用しやすい環境の確立	図書館を含む「情報・学習資料センター」Active Learning, Library and Selfstudy(A. L. L. S.)として、現在の1階自習スペースや視聴覚教室のリノベーションを行う。それに向けた具体的な建築案の作成、業者の選定などを行う。	図書部			
	6	教員の資質向上	13	中・高	研究授業の積極的展開	教員のスキルアップに向けた研究授業制度の確立	各教科を中心に研究授業や研修発表を適宜実施し、教科教育の充実を図る。特に自主的な研究発表や勉強会の企画・実施に対する支援のあり方について検討する。また、ICT機器の活用のさらなる推進のために、研修等を実施する。	教務部			
				中・高	研修制度の見直しと検討	教員研修制度によるスキルアップの促進	教育内容の急激な変化に対応すべく研修制度の実施状況を検証し、改善に向けた方策や、勤続20年目や30年目の学び直しをも見据えた新たな研修制度の創設を検討する。	総務部			
	7	教育施設の整備	15	中・高	実験室や視聴覚教室、課外活動施設等の校内施設・設備の充実	設備の充実による教育内容および効果の向上	運営委員会において学校教育の充実・強化に向けた施設設備の整備に取り組みながら、さらに中長期の整備計画を策定する。事務室においては、財務部(施設課・経理課)と連携を図り、計画実現に向けた予算措置を含めた具体的な事務作業を執り行う。	総務部 事務室			

ビジョン	中長期事業計画					2020年度事業計画案	担当部署	2020年度事業報告案				
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値		2020年度の具体的計画内容	2020年度の具体的実施内容	評価(S・A・B・C)	評価の理由	
国際感覚 ①グローバル社会の担い手の育成 ②異文化理解と外国語教育の充実 ③キャンパスの国際化の推進	1	グローバル社会の担い手の育成	1	中・高	多様性を認め合う共生社会の形成に向けた国際交流プログラム(海外研修・留学生受入を含む)の充実	国際交流の積極的な展開によるグローバル教育の充実	運営委員会や国際交流委員会を中心に現状の課題を検証し、異文化理解とともに共生や平和の教育、現地研修を含めたプログラムの見直し等、グローバル社会に対応する教育の中長期計画策定について総合的に検討する。特に2020年度においては、中学の海外研修プログラムの再開、また中高におけるターム留学制度の開始に着手する。	総務部 教務部				
				中・高	帰国生への対応(募集拡大、教学支援の検討)	帰国生受け入れ制度の確立						運営委員会や関係する部署において帰国生対応に関する地域社会からの要請や受け入れによる教育的効果を確認し、今後のあり方や体制整備に向けた検討に着手する。
				高校	卒業後の海外大学進学への支援体制の構築	海外進学支援体制の確立						進路指導部を中心に、海外進学を希望する生徒のニーズについて把握する。進路・進学指導については、国際交流委員会を通じて専門業者との連携について検討する。
	2	英語教育のさらなる強化と拡充	4	中・高	全生徒に対する英語力の全般的な向上	英語を活用したコミュニケーション能力の向上	英語科を中心にオンライン英会話授業の運用とその効果を検証し、今後の実施計画を策定する。また、語学力向上のための様々な方策の調査や検討も併せて行う。	教務部				
				中・高	GTEC等の英語力の学外指標の導入	大学入試対策に合わせた英語力の向上	英語成績提供システムの大学入試への導入は、2025年度入試に延期されたが、多様化する大学入試に対応するため、引き続き生徒の英語4技能をはかる民間検定試験を活用する。また、生徒に負担がかからず能力を発揮しやすい受検環境の確保に向け、業者等との調整を図る。また、GTECに限らず他の民間検定試験についても情報収集と生徒への情報提供を行う。	教務部 進路指導部				
地域貢献 ①地域社会との協働 ②国際交流都市福岡への貢献 ③地域に開かれ、地域に貢献する空間づくり	1	地域における貢献活動	1	中・高	ボランティア活動やイベント等の地域貢献活動・地域福祉活動の充実	地域貢献活動の充実に向けた組織と制度の整備	重症心身障害児施設や老健施設でのボランティアについては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から訪問でのプログラムを見送り、カードの贈呈や生徒の演奏を収めたビデオレターなど代替の方法を検討し、これまでの交流が途絶えぬよう努める。地域住民向けコミュニティクリスマスの実施、生徒による選挙公報活動、地下鉄乗車マナーアップ活動、継続的な被災地支援活動についても状況を見ながら判断・実施する。	宗教部 総務部 生徒指導部				
				中・高	災害発生時の避難場所提供等の防災協力体制の充実	地域防災の充実		防火・防災対策委員会を中心に、生徒・教職員対象の防災計画(マニュアル整備や防災用品整備等)の検討・実施に加え、近隣地域に向けた防災協力体制(防犯、交通安全対策を含む)や具体的内容について審議・検討する。				総務部 事務室
	2	地域住民との連携	3	中・高	百道浜自治協議会との連携強化	連携のための組織および制度整備による地域との関係性の向上	校長・副校長・教頭・事務長を中心に連携に向けた組織づくりのための方策をまとめ、自治協議会関係者との懇談の機会を設ける。	総務部				

ビジョン	中長期事業計画						2020年度事業計画案	担当部署	2020年度事業報告案		
	NO	ビジョン実現に向けた課題	通しNO	対象	アクションプラン	目標値	2020年度の具体的計画内容		2020年度の具体的実施内容	評価(S・A・B・C)	評価の理由
経営基盤 ①経営体制の充実・強化 ②健全な財務基盤の確立 ③社会的責任の遂行	1	広報活動	1	中・高	中学校・高等学校全体のブランディング・広報戦略の充実・強化	学校および生徒の取り組みの積極的な社会発信による理解度・認知度の向上	2015年に小改訂を行った学校紹介DVDの大幅リニューアルを計画し2021年度途中からの運用を目指す。ホームページでの運用も視野に置いてDVDではなく、テーマ別に短い動画を20本程度作成する方向で業者選定をおこなう。納品後、修正や動画の追加ができるよう3年程度の保守契約も検討する。新型コロナウイルスの影響で学校説明会の機会が減少しているため、オンライン説明会等の実施についても研究する。本校の教育活動について広く情報を提供し、本校に対する正しい理解と正当な評価を得ることを目指す。	広報部			
	2	運営管理体制の強化	2	中・高	危機管理体制(災害対応・施設強化を含む)の充実・強化	危機管理体制および設備・機器の整備による生徒・教職員に対する安全管理の向上	防火・防災委員会を中心に、生徒・教職員対象の防災計画(マニュアル整備や防災用品整備等)の検討・実施を進める。新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、消毒液やマスク等の衛生用品確保に努めるとともに、備蓄物の見直しを図る。	総務部 事務室			
			3	中・高	校友行政の強化・同窓会との協力関係強化	関係強化のための組織と制度の整備	校長・副校長・教頭・事務長を中心に、関係教員や同窓会関係者や後援会役員との協議の上で実施する。				
			4	中・高	後援会との協力関係強化(情報提供のさらなる充実、専用ホームページの検討)	関係強化のための組織と制度の整備	校長・副校長・教頭・事務長を中心に、関係教員や同窓会関係者や後援会役員との協議の上で実施する。				
	3	教職員に対する健康管理の充実	5	中・高	定期健康診断に基づく保健指導の充実、メンタルヘルス等の対応強化	労働安全衛生法に基づく健康管理制度の確立と運用	衛生委員会を中心に教職員の健康管理の充実に向けた2020年度の計画案を策定し、適宜、職員会議等で報告の上で実施する。また、働き方改革やハラスメント対策等について、総務部(人事課)と連携を図り具体的な対策を実施する。	総務部			